

## アリアンス株式会社 ZEH目標公表資料 ZEH 事業計画書

※ZEH シリーズ受託率目標(ZEH 及び Nearly ZEH 年度別受託率合計)

ZEH普及実績										ZEH普及目標	
2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2030年度	
新築	10%	新築	10%	新築	14%	新築	10%	新築	8%	新築	75%
既存	0%	既存	0%	既存	0%	既存	0%	既存	0%	既存	50%

<SIIZEHビルダー/プランナー一覧検索>

### ※ZEH の周知・普及に向けた具体策

弊社は現在、長期優良住宅を全棟標準にしております。全棟消費エネルギーの計算をし、ZEH基準を満たしております。

住宅をZEHにすることのメリットを社員自身が十分に周知していける様に今後も務めてまいります。

昨今の物価上昇に伴い、建築コストの増加を受け新築住宅を求める数が減少しております。建築コストが増加しているからこそ、住宅をZEH化することにより、その後のランニングコストを抑えることができること、住宅内の環境を一定にすることでヒートショック等による体の変調を低減し気温差の激しい中でも快適に過ごすことができること、家計に優しく健康で快適な生活を送ることができることをご理解いただけるよう努めてまいります。

### ※ZEH のコストダウンに向けた具体策

ZEH基準住宅に対する当社の取り組みを、関連業者様や設置業者様にご理解と協力をいただいております。

昨今より高騰している住宅に関連する部材・機器の情報を常に精査し、省エネや創エネの費用対効果を念頭におき、各関連業者様や設置業者様に協力を要請していきます。さらに住宅の計画段階において、配置・設置等を考慮することによりコストの低減を実現しています。

また世界情勢に影響を受け今後も建築コストが上昇していくと予想されますので、より一層関連業者様や設置業者様にご理解とご協力をいただきたいと思います。

### ※その他の取り組みなど

ZEHの根幹である二酸化炭素排出量の削減(一次エネルギー消費削減)等を考えますと、第一に必要なことは「各家庭での省エネへの取り組みを促進すること」が不可欠だと考えます。電力モニターをすべてカラー化し、買電と売電を目視出来る様にしております。

根本的な課題としては、ZEHで得られるメリットをお施主様にご理解いただけるような伝え方・発信力が我々に必須だと考えます。その為、積極的に研修会や勉強会などに参加していきたいと思っております。

昨今の住宅コスト上昇、その他物価上昇や消費エネルギー価格の上昇に伴い、お施主様におかれましては節約への意識が年々上昇していると感じています。

今後の取り組みとしましては、HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)を取り入れる事で消費エネルギーをより一層「見える化」し、各家庭においてさらなる省エネへの関心を持っていただくことが必須かと思われまます。消費エネルギーの高い設備に関しましては、上記にもお伝えした「見える化」に力を入れ、年間の総エネルギー量や料金の比較を行い、長期間で考える省エネ・総エネを発信することが必要とも思われまます。